

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

施設グループ	ページ
コミュニティ系施設	
コミュニティセンター	1、2
勤労市民プラザ	3
公民館 ※図書館なし	4～6
公民館 ※図書館あり	7、8
いきいきプラザ	9、10
いきいきセンター	11、12
その他	13
文化系施設	
ホール	14
博物館	15
図書館	16、17
公園・レクリエーション施設	
有料公園施設（貸室）	18、19
屋外集客系施設	20
屋内集客系施設	21
宿泊系施設	22

施設グループ	ページ
その他	
男女共同参画センター 他	23
福祉系施設	
青少年サポートセンター	24
その他（子育て）	25
子育てリラックス館	26、27
産業・農業系施設	
都市農業交流センター	28
その他（産業・農業）	29
自立・就労サポートセンター	30
ふるさとハローワーク	31
行政施設	
区役所	32
保健福祉センター	33
市民センター	34、35
連絡所	36
事務所等	37

施設グループ	ページ
行政施設	
消防施設 消防署	38
消防施設 出張所	39、40
環境事業所	41
公園緑地事務所	42
土木事務所	43
出先機関等 その他	44
福祉系施設	
高齢・障害等	45、46
生活自立・仕事相談センター	47
医療系施設	48
学校（小中学校除く）	49
教育施設（その他）	50
その他（千葉市斎場 他）	51
スポーツ施設	52～56

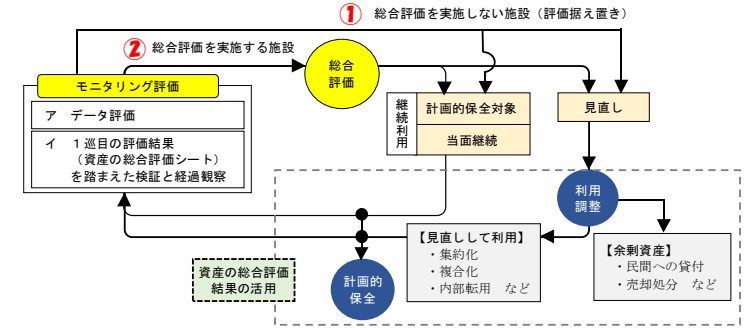
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替え検討とする主な考え方	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
1	中央コミュニティセンター 松波分室	25	25-2	△	39.0	3	△	44,982	1	△	継続利用	当面継続	△	51.7	%	4	43,775	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続	2-8	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 前所有者から遺贈された基金を維持管理 費等に充てて運用できていること及び その基金について約3億円の残高が あることを確認できたため、評価据置 きとする	
2	蘇我コミュニティセンター			△	40.0	4		24,366	3		斜線	<個別に取組みあり> 移転予定(H28年度移転)	斜線	63.6	%	5	14,981	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)	
3	蘇我コミュニティセンター ハーモニープラザ分館										斜線		斜線	-	%	-	-	円/㎡	-		①	-	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 男女共同参画センターの諸室の貸出部 分を使用し開設したため、3年間の利 用状況等を踏まえ、総合評価を実施す る（それまでは「当面継続」とする）	
4	畑コミュニティセンター	25	25-3		21.0	1	△	22,649	3		継続利用	当面継続	斜線	27.5	%	1	△	20,585	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> H30年度、R元年度と同様、学校の 長寿命化計画との関連を踏まえ、評価 据置きとする※1
5	幕張コミュニティセンター	25	25-4		28.0	2	△	17,570	4		継続利用	当面継続	斜線	47.8	%	3		14,629	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
6	花鳥コミュニティセンター	25	25-5		29.0	2	△	16,851	4		継続利用	当面継続	斜線	31.4	%	2	△	12,684	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
7	穴川コミュニティセンター	25			50.0	5		18,978	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	59.0	%	4		13,195	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
8	長沼コミュニティセンター	25	25-6		29.0	2	△	21,427	3		継続利用	当面継続	斜線	39.7	%	2	△	17,463	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
9	都賀コミュニティセンター	25	25-7		38.0	3	△	21,628	3		継続利用	計画的保全	斜線	34.6	%	2	△	19,529	円/㎡	3		②	★	継続利用	計画的保全		<評価替え検討（総合評価実施）> 経過観察3期目のため、評価替えを 検討する

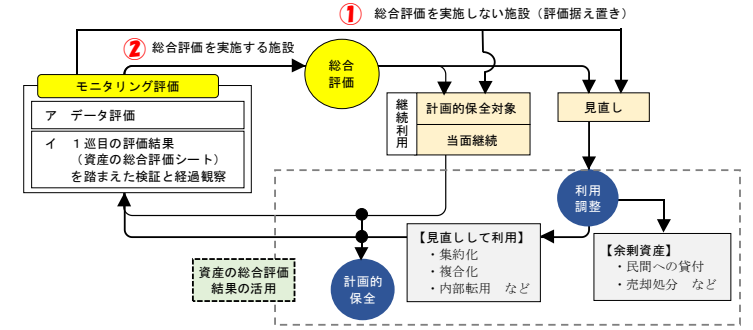
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
10	千城台コミュニティセンター	25	25-8		34.0	3	△	28,324	2	△	継続利用	当面継続		40.9	%	3		29,643	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1、H30年度、R元年度と同様、評価据置き
11	鎌取コミュニティセンター	25	25-9		42.0	4		28,463	2	△	継続利用	計画的保全		57.1	%	4		28,517	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
12	土気あずみが丘プラザ	25	25-10		34.0	3	△	17,106	4		継続利用	計画的保全		40.9	%	3		14,272	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
13	高洲コミュニティセンター	25			42.0	4		17,855	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		53.2	%	4		21,725	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
14	真砂コミュニティセンター				47.0	4	△	24,002	3			<個別に取組みあり> 移転決定済		42.3	%	3		15,521	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全	-	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 R2年度のデータ評価において、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる

グループ名	コミュニティ施設（コミュニティセンター）
-------	----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【コミュニティセンター（畑、幕張、花島、長沼、千城台、鎌取）】 ・平成30年度及び令和元年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【コミュニティセンター（松波分室）】 ・令和2年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【コミュニティセンター（ハーモニープラザ分館）】 ・3年間の利用状況等を踏まえ、総合評価を実施する。（それまでは「当面継続」とする。）</p> <p>【コミュニティセンター（都賀）】 ・経過観察が3期目のため、総合評価を実施し、評価替えを検討する。</p>

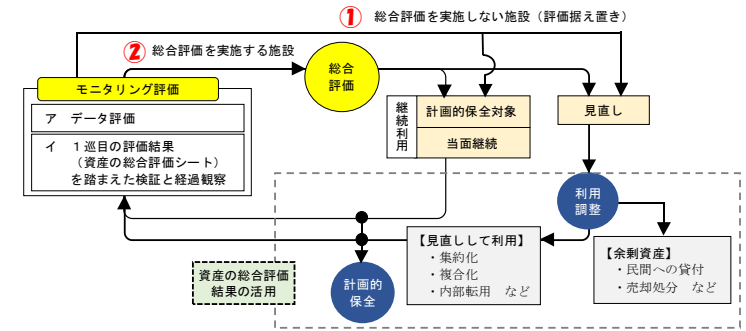
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	長沼原勤労市民プラザ	25	25-11		43.0	2	△	21,061	3		継続利用	当面継続		51.8	%	-	-	12,823	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	幕張勤労市民プラザ	25	25-12		53.0	4		24,342	2	△	継続利用	計画的保全		53.1	%	-	-	10,772	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	コミュニティ系施設（勤労市民プラザ）
-------	--------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 資産の総合評価1巡目では3施設（長沼原、幕張、蘇我）による相対評価を実施。ただし、資産の総合評価2巡目では2施設（長沼原、幕張）であることから、相対評価を実施せず、個別に対応を検討する。（データは参考値として記載） 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

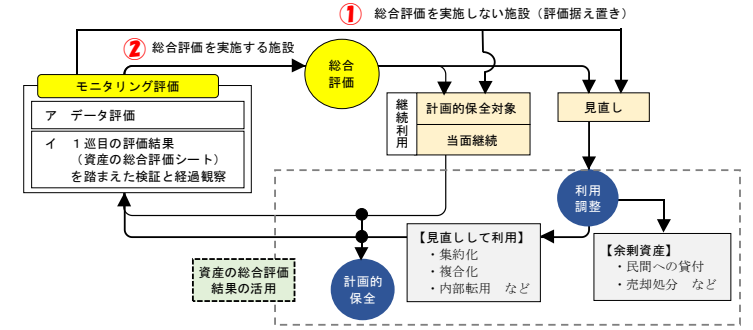
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
1	横橋公民館	25	25-20	△	26.5	2	△	33,758	3		見直し	複合化	△	30.0	%	2	△	38,003	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	30-1	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 賃貸借契約期間中（～R9.8）は現用途のまま継続して使用する	
2	轟公民館	25			59.1	5		21,831	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	61.9	%	5		32,924	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
3	小中台公民館	25	25-26		51.9	4		37,760	2	△	継続利用	計画的保全	△	50.3	%	4		33,672	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
4	椎名公民館	25	25-40	△	22.6	1	△	39,538	2	△	継続利用	当面継続	△	23.8	%	1	△	58,286	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替え検討（総合評価実施）> 建物の残耐用年数が5年以下のため、 総合評価を実施し、評価替えを検討する
5	土気公民館	25			41.6	3		31,342	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	49.7	%	4		45,629	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
6	宮崎公民館	25	25-14		31.8	2	△	16,273	5		継続利用	当面継続	△	46.0	%	3		22,099	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き	
7	葛城公民館	25	25-15	△	29.1	2	△	40,885	2	△	継続利用	当面継続	△	22.4	%	1	△	71,127	円/㎡	1	△	②	○	見直し	稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直し	2-1	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直しを行うことが望ましい
8	千城台公民館	25	25-33	△	43.7	4		34,751	3		継続利用	当面継続	△	38.8	%	3	△	30,507	円/㎡	3	②	○	見直し	学校跡施設への移転・建替え	2-5	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 近隣の千城台南小学校跡施設を活用した 移転・建替え案を作成し、すでに地元 検討協議会と協議を開始しているため、 今後の協議状況を踏まえ検討する	
9	末広公民館	25	25-16	△	37.1	3	△	40,323	2	△	継続利用	当面継続	△	31.7	%	2	△	75,194	円/㎡	1	△	②	○	見直し	稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直し	2-2	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直しを行うことが望ましい

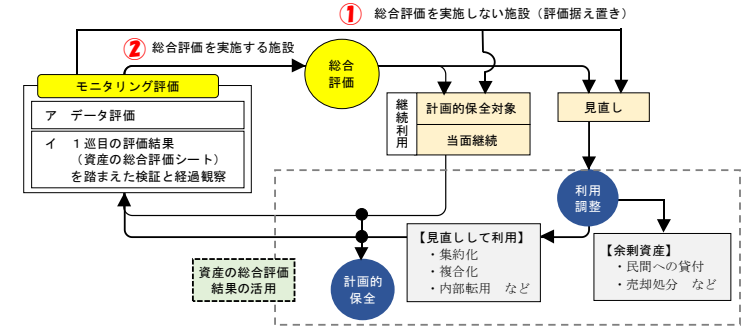
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
10	椿森公民館	25	25-17	△	27.7	2	△	42,391	2	△	継続利用	当面継続	△	26.9	%	2	△	60,850	円/㎡	1	△	②	○	見直し	稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直し	2-3	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直しを行うことが望ましい
11	川戸公民館	25	25-18	△	32.5	2	△	43,119	2	△	継続利用	当面継続	△	28.9	%	2	△	60,532	円/㎡	1	△	②	○	見直し	稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直し	2-4	<個別事情により評価据置き> R2年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 稼働率の低い諸室・時間帯利用等の見直しを行うことが望ましい
12	花見川公民館	25	25-21	△	30.0	2	△	30,317	3		継続利用	当面継続	△	28.8	%	2	△	41,222	円/㎡	3		②	★	継続利用	当面継続		<評価替え検討（総合評価実施）> 建物の残耐用年数が5年以下のため、 総合評価を実施し、評価替えを検討する
13	加曾利公民館	25	25-36	△	28.2	2	△	43,770	2	△	継続利用	当面継続		33.8	%	2	△	62,351	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
14	星久喜公民館	25	25-19	△	29.8	2	△	39,289	2	△	継続利用	当面継続		23.8	%	1	△	56,925	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
15	こてはし台公民館	25	25-23		32.8	2	△	34,629	3		継続利用	当面継続		36.6	%	3	△	50,729	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
16	高浜公民館	25			43.5	4		28,418	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		42.6	%	3		39,221	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
17	黒砂公民館	25			49.3	4		24,255	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		46.8	%	4		31,206	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
18	稲浜公民館	25			46.0	4		32,675	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		45.6	%	3		54,454	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
19	稲毛公民館	25	25-27		36.3	3	△	31,918	3		継続利用	当面継続		41.5	%	3		45,027	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き
20	松ヶ丘公民館	25	25-13		38.8	3	△	35,567	2	△	継続利用	当面継続		54.3	%	4		39,992	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、 評価据置き

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

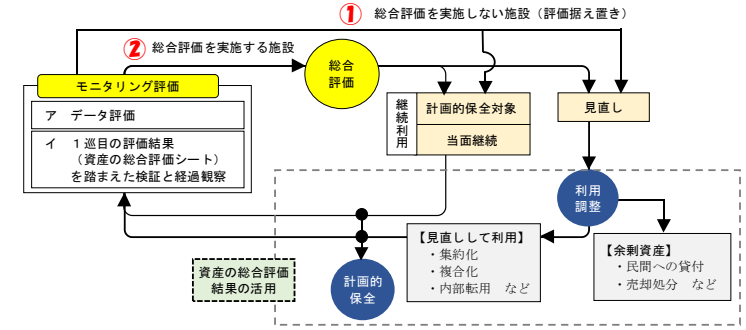
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価										
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要	
				建物性能	利用率	運用コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運用コスト		ルート	評価結果	方向性						
21	花園公民館	25		50.0	4	20,695	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	48.9	%	4	26,787	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)		
22	幕張本郷公民館	25		50.9	4	30,147	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	53.0	%	4	38,357	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)		
23	おゆみ野公民館	25		40.1	3	16,376	5	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	53.5	%	4	22,501	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)		
24	新宿公民館	25		57.1	5	15,848	5	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	52.3	%	4	20,389	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)		
25	打瀬公民館	25		42.6	3	19,903	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	54.2	%	4	25,070	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)		
26	白井公民館	25	25-35	30.3	2	△	25,859	4	継続利用	当面継続	35.5	%	3	△	33,339	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き

グループ名	コミュニティ系施設（公民館） ※図書館なし
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用率	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の設置有無に伴い、運営コストに差が生じたため、図書館の有無によりグループを設定し、相対評価を実施している。 ・利用率（稼働率）は調理室を含む。 <p>【公民館（土気、宮崎、加曽利、星久喜、こてはし台、稲浜、稲毛、松ヶ丘、白井）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度及び令和元年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。 <p>【公民館（檜橋、葛城、千城台、末広、椿森、川戸）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度または令和2年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 <p>【公民館（椎名、花見川）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の残耐用年数が5年以下のため、総合評価を実施し、評価替えを検討する。

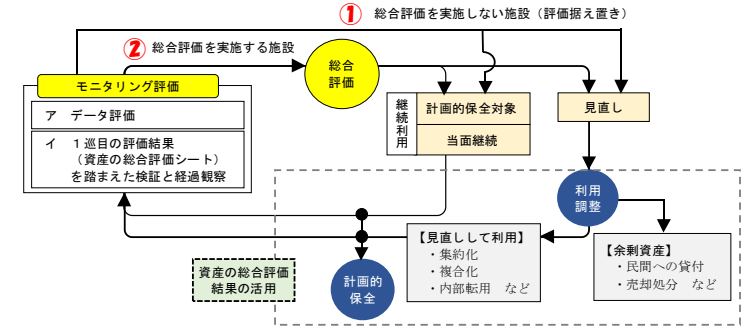
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替え検討とする主な考え方	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定								
1	大宮公民館	25	25-37	△	38.4	3	△	60,172	2	△	継続利用	当面継続	斜線	33.8	%	2	△	57,547	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
2	千草台公民館	25	25-28		31.6	2	△	56,703	2	△	継続利用	当面継続	斜線	37.3	%	3	△	54,755	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
3	さつきが丘公民館	25	25-22		33.4	3	△	59,242	2	△	継続利用	当面継続	斜線	36.9	%	3	△	77,501	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
4	更科公民館	25	25-34		10.9	1	△	61,740	2	△	継続利用	当面継続	斜線	10.5	%	1	△	72,885	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
5	草野公民館	25	25-29		26.9	2	△	53,640	3		継続利用	当面継続	斜線	33.6	%	2	△	82,563	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
6	幕張西公民館	25	25-43		35.2	3	△	53,986	3		継続利用	当面継続	斜線	32.8	%	2	△	52,889	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
7	長作公民館	25	25-24		26.1	2	△	60,855	2	△	継続利用	当面継続	斜線	29.5	%	2	△	55,813	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
8	検見川公民館	25			40.5	3		53,494	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	40.6	%	3		48,923	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
9	みつわ台公民館	25	25-38		39.9	3	△	52,727	3		継続利用	当面継続	斜線	46.5	%	4		46,839	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
10	若松公民館	25	25-39		51.0	4		58,764	2	△	継続利用	計画的保全	斜線	52.4	%	4		59,319	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
11	山王公民館	25	25-30		28.3	2	△	53,636	3		継続利用	当面継続	斜線	34.0	%	2	△	55,583	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	
12	磯辺公民館	25	25-44		31.0	2	△	53,874	3		継続利用	当面継続	斜線	34.6	%	3	△	52,914	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き	

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

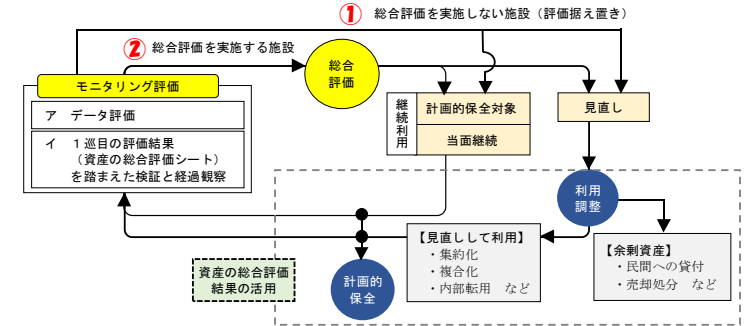
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
13	都賀公民館	25	25-31		34.6	3	△	50,318	3		継続利用	当面継続		33.0	%	2	△	50,866	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
14	緑が丘公民館	25	25-32		34.6	3	△	55,717	2	△	継続利用	当面継続		37.0	%	3	△	54,535	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
15	朝日ヶ丘公民館	25	25-25		38.6	3	△	52,261	3		継続利用	当面継続		37.0	%	3	△	63,741	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
16	幸町公民館	25	25-45		35.7	3	△	32,617	5		継続利用	当面継続		29.5	%	2	△	28,286	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
17	越智公民館	25	25-41		35.3	3	△	47,634	3		継続利用	当面継続		38.0	%	3	△	43,746	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
18	生浜公民館	25			40.8	3		40,538	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		40.1	%	3		36,603	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
19	幕張公民館	25			46.0	4		41,587	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		51.9	%	4		27,923	円/㎡	5		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
20	桜木公民館	25			47.6	4		49,152	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		39.0	%	3	△	34,731	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度、R元年度と同様、評価据置き
21	誉田公民館	25			45.4	4		31,200	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		57.8	%	5		21,337	円/㎡	5		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	コミュニティ系施設（公民館） ※図書館あり
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の設置有無に伴い、運営コストに差が生じたため、図書館の有無によりグループを設定し、相対評価を実施している。 ・利用度（稼働率）は調理室を含む。 <p>【公民館（大宮、千草台、さつきが丘、更科、草野、幕張西、長作、みつわ台、若松、山王、磯辺、都賀、緑が丘、朝日ヶ丘、幸町、越智、桜木）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度及び令和元年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。

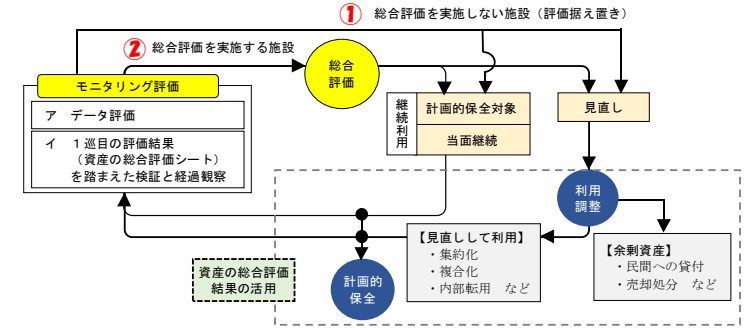
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価																	
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要										
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性									
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定												
1	中央いきいきプラザ	25	25-46			56.9	3	83,552	2	△	継続利用	当面継続			34.6	人/㎡	2	△	49,257	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-1	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、機能が類似している周辺施設の利用状況や残耐用年数（利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安）に留意しながら必要規模等を精査していく必要がある		
2	花見川いきいきプラザ	25				67.7	5	64,936	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			37.5	人/㎡	2	△	29,244	円/㎡	5	②	★	継続利用	計画的保全		<評価替え検討（総合評価実施）> 経過観察3期目のため、評価替えを検討する		
3	稲毛いきいきプラザ	25				61.9	4	51,451	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			50.5	人/㎡	3		52,954	円/㎡	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト課題あり（2期連続）	
4	若葉いきいきプラザ	25	25-47			48.6	2	△	39,511	4		継続利用	当面継続			43.4	人/㎡	3		45,830	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-2	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 清掃工場停止に伴い、現在は浴室をボイラーにより対応しており、運営コストの増加懸念があることから当面は動向を注視する	
5	緑いきいきプラザ	25	25-48			43.7	2	△	54,327	3		継続利用	当面継続			45.2	人/㎡	3		57,542	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-3	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用状況や残耐用年数（利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安）に留意しながら、必要規模・内容を精査していく必要がある

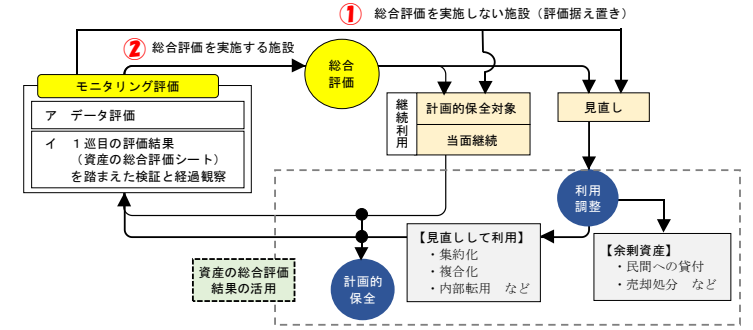
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替え検討とする主な考え方		
・残耐用年数5年以下		
・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある		
・昨年度から状況に変化がある		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性				
6	美浜いきいきプラザ	25	25-49		51.4	3	76,188	2	△	継続利用	当面継続		68.0	人/㎡	5	44,453	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-4	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用状況や残耐用年数（利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安）に留意しながら、必要規模・内容を精査していく必要がある

グループ名	コミュニティ系施設（いきいきプラザ）
-------	--------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【いきいきプラザ（中央、若葉、緑、美浜）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 <p>【いきいきプラザ（稲毛）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。 ※稲毛いきいきプラザは経過観察2期目 <p>【いきいきプラザ（花見川）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察が3期目のため、総合評価を実施し、評価替えを検討する。

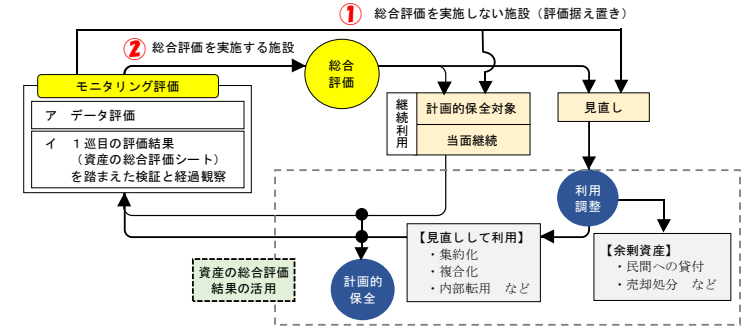
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定									
1	蘇我いきいきセンター	25	25-50	△	37.0	2	△	117,610	2	△	継続利用	当面継続	135.5	人/㎡	5	131,731	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-5	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	
2	花見川いきいきセンター	25			91.6	5		61,809	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	92.1	人/㎡	3	55,837	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
3	さつきが丘いきいきセンター	25	25-51		60.9	4		120,556	2	△	継続利用	当面継続	93.6	人/㎡	3	97,336	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-6	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	
4	あやめ台いきいきセンター	25	25-52	△	53.7	3		90,726	3		継続利用	当面継続	△	86.0	人/㎡	3	96,055	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-7	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年以下であり、必要規模等を精査していく必要がある
5	大宮いきいきセンター	25	25-53	△	50.6	3		96,716	3		継続利用	当面継続	△	56.8	人/㎡	2	89,679	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-8	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年以下であり、必要規模等を精査していく必要がある
6	都賀いきいきセンター	25			46.1	3		46,803	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	32.1	人/㎡	1	37,438	円/㎡	5		②	★	継続利用	計画的保全		<評価替え検討（総合評価実施）> 経過観察3期目のため、評価替えを検討する	
7	越智いきいきセンター	25	25-54		41.0	2	△	123,047	2	△	継続利用	当面継続	67.5	人/㎡	3	125,059	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-9	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	

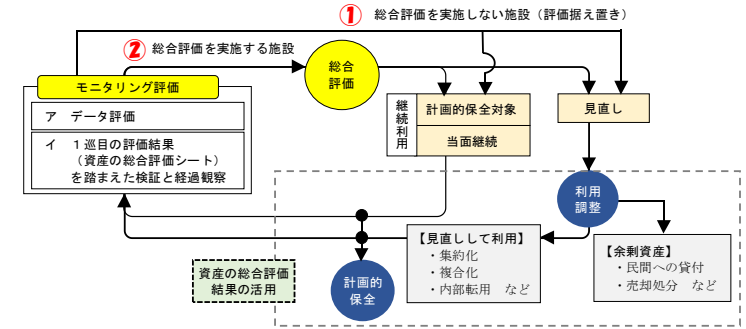
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討と する主な考え方	
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】 評価番号	検証結果 概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性						
8	土気いきいきセンター	25	25-55	△	20.5	1	△	67,083	4		継続利用	当面継続	斜線	62.5	人/㎡	2	△	62,723	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	1-10	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用 年数5年以下であり、必要規模等を精 査していく必要がある
9	真砂いきいきセンター	25	25-56		55.3	3		124,232	2	△	継続利用	当面継続	斜線	97.6	人/㎡	4		101,335	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-11	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用 年数5年を目安に、必要規模等を精査 していく必要がある

グループ名	コミュニティ系施設（いきいきセンター）
-------	---------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【いきいきセンター（蘇我、さつきが丘、あやめ台、大宮、越智、土気、真砂）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 <p>【いきいきセンター（都賀）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察が3期目のため、総合評価を実施し、評価替えを検討する。

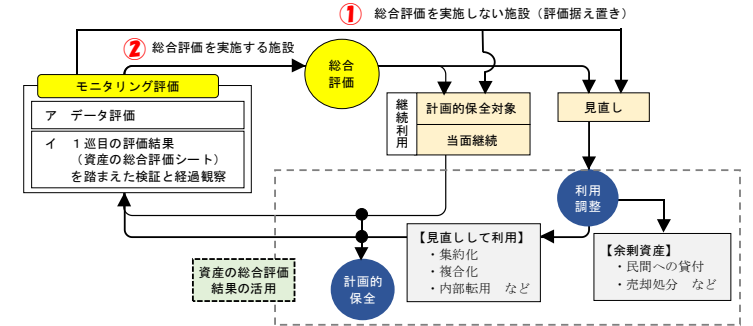
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替え検討とする主な考え方	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性		建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性								
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定								
1	おゆみ野ふれあい館	25	25-57	13.0	△	18,503	-	-	継続利用	当面継続	斜線	24.2	人/nf	3	14,520	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 建物の残耐用年数がなくなるまで利用継続する方針（耐用年数経過後の動向について検討する必要がある）	
2	小中台地域福祉交流館	25	25-59	6.2		9,704	-	-	継続利用	当面継続	斜線	28.4	人/nf	4	15,246	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-12	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 残耐用年数（5年を目安）は利用を継続するものの、運営コスト削減を検討する必要がある	
3	犢橋地域福祉交流館	25	25-60	-	-	-	-	-	継続利用	当面継続	斜線	9.4	人/nf	2	△	6,619	円/nf	4		①	○	継続利用	当面継続	1-13	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用度改善を検討する必要がある
4	生涯学習センター	25	25-61	41.0		58,598		△	継続利用	計画的保全	斜線	62.6	%	-	-	61,004	円/nf	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	南部青少年センター	25	25-62	△	37.0	△	23,653	△	継続利用	当面継続	△	50.8	%	-	-	19,135	円/nf	-	-	①	○	見直し	周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方の検討	1-14	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方を検討していく方針

グループ名	コミュニティ系施設（その他）
-------	----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> グループに属さない3施設（おゆみ野ふれあい館、小中台・犢橋地域福祉交流館）で相対評価を実施。残り2施設（生涯学習センター、南部青少年センター）は利用度の単位が異なることから、相対評価を行わなかった。（利用度について、2施設は稼働率を記載） <p>【地域福祉交流館（小中台、犢橋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

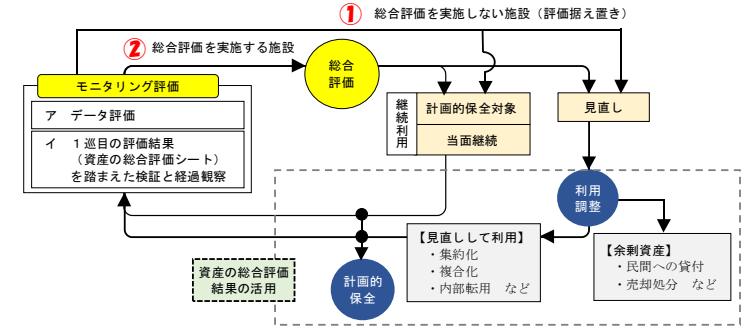
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討とする主な考え方 ・残耐用年数5年以下 ・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある ・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	千葉市民会館	25	25-63	△	63.3	5	40,002	4	継続利用	当面継続	△	67.4	%	5	25,680	円/㎡	5	①	○	継続利用	当面継続	1-15	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 建物性能に課題があるものの、空調設備等改修工事実施しており、当面は利用を継続する		
2	文化センター	25	25-64		54.3	4	77,444	1	△	継続利用	当面継続	斜線	54.9	%	3	37,167	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-16	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 運営コストに実質的な課題はなく、残耐用年数や指定管理期間を考慮しながら、必要規模等を精査する必要があるものの、当面は利用を継続する
3	若葉文化ホール	25	25-66		40.7	2	61,797	2	△	継続利用	当面継続	斜線	46.5	%	2	36,466	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-17	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 利用度の改善に向けた取組みを実施中 残耐用年数や指定管理期間を考慮しながら、必要規模等を精査する必要があるものの、当面は利用を継続する
4	美浜文化ホール	25			46.3	3	38,875	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	55.3	%	3	35,653	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし				<個別事情により評価据置き> R2年度のデータ評価において、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる

グループ名	文化系施設（ホール）
-------	------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p>

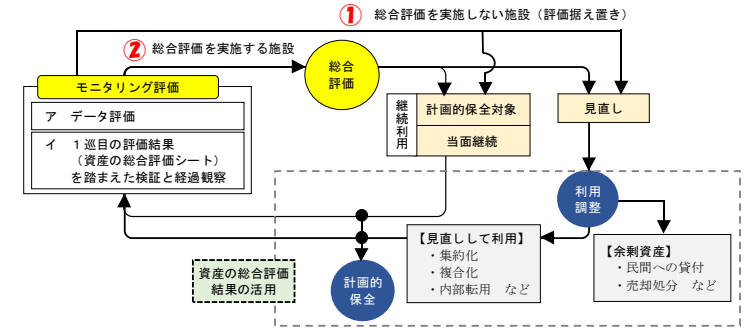
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	千葉市民ギャラリー・いなげ	26	26-17	△	52.2	5	41,170	2	△	継続利用	当面継続	△	41.2	人/㎡	4	36,630	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-25	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 耐震補強工事後（R2・1～）の利用 状況に注視し、必要規模について精査 していく必要がある
2	郷土博物館	26	26-18	△	14.1	2	41,527	2	△	継続利用	当面継続	△	22.1	人/㎡	3	37,581	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> あり方検討のため評価結果据置き
3	埋蔵文化財調査センター	26	26-19		-	-	-	-	△	継続利用	当面継続		1.2	人/㎡	-	25,942	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	科学館	26			19.6	3	30,832	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		22.0	人/㎡	3	28,191	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	文化系施設（博物館）
-------	------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【千葉市民ギャラリー・いなげ】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【郷土博物館】 ・資産の総合評価1巡目のデータ評価に加え、2巡目のデータ評価においても「課題あり」となったものの、あり方検討のため評価結果を据置きとする。</p> <p>【埋蔵文化財調査センター】 ・他の施設と違い公用施設的な側面が強く、相対評価にそぐわないため、相対評価を実施しない。 ※資産の総合評価1巡目と同様の対応。なお、状況変化が少ないことから、評価結果の見直しを実施しないものと判断した。</p>

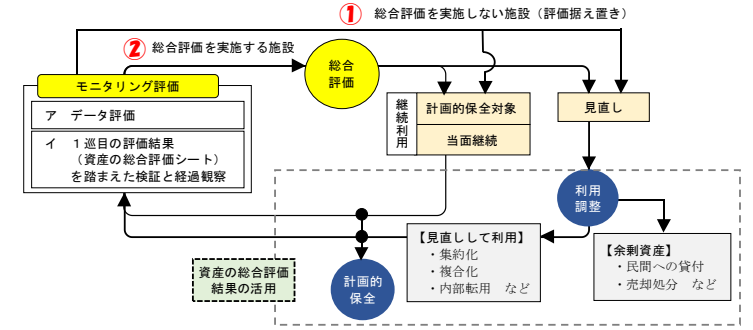
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
●	・残耐用年数5年以下	
●	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
●	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	中央図書館	27	27-1	76.2	2	△	87,815	2	△	継続利用	計画的保全	／	71.4	人/nf	2	△	67,557	円/nf	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない	
2	みやこ図書館	27	27-2	69.9	2	△	44,866	4		継続利用	当面継続	／	66.0	人/nf	2	△	43,208	円/nf	4		①	○	継続利用	当面継続	1-26	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するもの、利用度の改善を図る必要がある (同区内の中央図書館の動向を注視)	
3	花見川図書館	27	27-3	△	83.5	2	△	62,296	3		継続利用	当面継続	／	67.2	人/nf	2	△	67,015	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-27	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するもの、利用度の改善を図る必要がある (同区内のみずほハスの花図書館の動向を注視)
4	稲毛図書館	27		132.0	3		55,698	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	／	91.1	人/nf	2	△	39,716	円/nf	4		②	★	継続利用	計画的保全		<評価替え検討（総合評価実施）> 経過観察3期目のため、評価替えを検討する	
5	若葉図書館	27	27-4	△	128.6	3	69,147	3		継続利用	当面継続	△	106.7	人/nf	3	68,038	円/nf	2	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替え検討（総合評価実施）> 建物の残耐用年数が5年以下のため、総合評価を実施し、評価替えを検討する		
6	緑図書館	27		145.3	3		44,934	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	／	132.7	人/nf	3	42,501	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)		
7	美浜図書館	27	27-5	378.0	5		108,788	1	△	継続利用	計画的保全	／	358.0	人/nf	5	102,487	円/nf	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない		
8	みやこ図書館白旗分館	27	27-6	△	193.2	3	60,423	3		継続利用	当面継続	△	162.6	人/nf	3	60,782	円/nf	3		①	○	見直し	周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方の検討	1-28	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方を検討していく方針		
9	花見川図書館 花見川団地分館	27		134.1	3		49,706	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	／	69.5	人/nf	2	△	33,554	円/nf	4		②	★	継続利用	計画的保全		<評価替え検討（総合評価実施）> 経過観察3期目のため、評価替えを検討する	

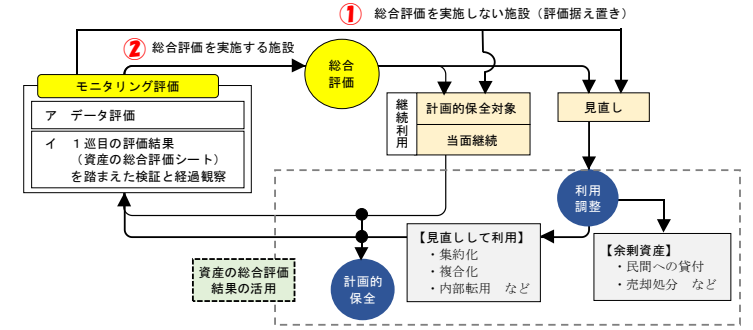
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討とする主な考え方 ・残耐用年数5年以下 ・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある ・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要					
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性							
1	亥鼻公園集会所	27	27-10	△	49.2	5	301,412	1	△	継続利用	当面継続	△	64.0	%	5	161,099	円/㎡	2	△	①	○	見直し	施設の必要性を含めた施設のあり方の検討	1-29	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 施設の必要性を含めた施設のあり方を 検討していく方針
2	千葉公園集会所 (好日亭)	27	27-11	△	24.3	2	△	22,459	4	継続利用	当面継続	△	21.4	%	3	△	23,051	円/㎡	4	①	○	見直し	施設の必要性を含めた施設のあり方の検討	1-30	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 施設の必要性を含めた施設のあり方を 検討していく方針
3	都市緑化植物園 (みどりの相談所)	27	27-12	△	41.1	4	156,112	3	継続利用	当面継続	斜線	38.5	%	4	△	128,536	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> データ評価で課題ありとなったもの の、利用度・運営コストに大きな変動 なく、状況変化がないものと判断し、 H30年度、R元年度と同様、評価据 置きとする
4	稲毛海浜公園教養施設	27	27-13	△			28,084	4	継続利用	当面継続	斜線				△	15,269	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	1-31	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 民間事業者と協定を締結しており、事 業期間（20年）の間は現用のまま継 続して使用する	
	【内訳】 稲毛記念館	27			32.4	3				斜線			21.3	%	3	△				①	○				
	【内訳】 海星庵	27		△	33.9	3				斜線			7.0	%	2	△				①	○				
	【内訳】 野外音楽堂	27		△	18.0	2	△			斜線			12.2	%	2	△				①	○				

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

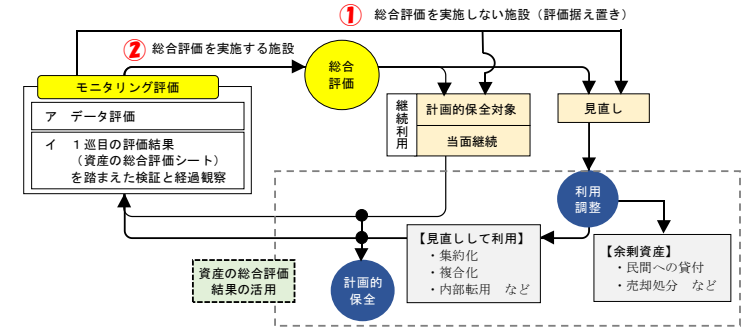
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価結果	方向性										
5	泉自然公園（講堂）	27	27-14	△	2.9	-	-	705	-	-	継続利用	当面継続	△	-	%	-	-	191	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 公園緑地事務所と一体で別途検討されているため、評価据置きとする

グループ名	公園・レクリエーション施設（有料公園施設（貸室））
-------	---------------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛海浜公園教養施設の利用度は機能ごとに3施設に分割して相対評価した。 【亥鼻公園集会所、千葉公園集会所（好日亭）、稲毛海浜公園教養施設】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 【都市緑化植物園（みどりの相談所）】 ・2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。 【泉自然公園（講堂）】 ・若葉公園緑地事務所との複合施設。 ・なお、泉自然公園（講堂）は公園緑地事務所と一体で別途検討されていることから、評価据置きとする。

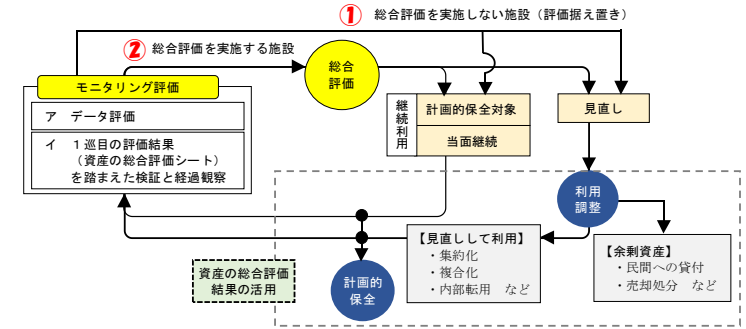
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討と する主な考え方	
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施 年度	評価 番号	データ評価				総合評価		建物 性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】 評価番号	検証結果 概要							
				建物 性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物 性能	利用度		運営コスト		検証結果										
					評価	判定	評価	判定					評価	判定	ルート	評価結果	方向性										
1	花見川緑地交通公園	27	27-15		3.0	-	-	742	-	-	継続利用	当面継続	斜線	3.7	人/㎡	-	-	607	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	旅客船ターミナル等複合施設「ケーズハーバー」												斜線	228.9	人/㎡	-	-	25,504	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続	30-4	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 民間企業が施設整備を行っており、事 業期間の間（～R元7.1）は現用途 のまま継続して使用する

グループ名	公園・レクリエーション施設（屋外集客系施設）
-------	------------------------

留意事項
<p>・屋外集客系施設は2施設しかなく、類似施設もないことから、相対評価を実施しない。</p> <p>【花見川緑地交通公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用度は「敷地面積当たり利用者数」、運営コストは「敷地面積当たり運営コスト」を記載している。 ※敷地面積： 30,335㎡ ・利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。 <p>【旅客船ターミナル等複合施設「ケーズハーバー」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

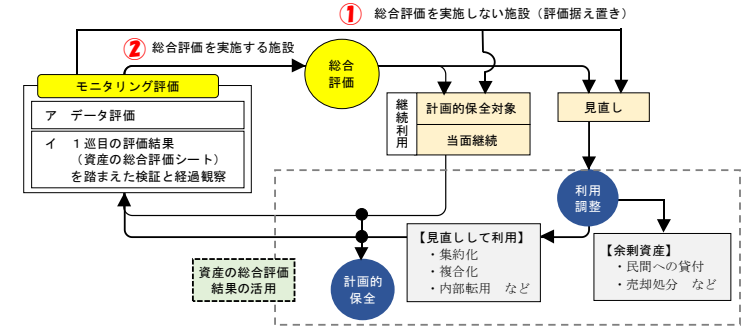
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
△	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
●	・残耐用年数5年以下	
●	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
●	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性				
1	千葉ポートタワー	27	27-16	△	56.7	5	78,718	1	△	継続利用	当面継続	55.6	人/㎡	5	33,744	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 資産の総合評価1巡目において、以下の内容の評価結果となっていることから、当面の間は評価据置きとする 「施設の老朽化に伴う改修費の増額が見込まれるため、本市が継続運営するべきかについて、今後の利用状況や千葉中央港地区のまちづくりの方向性も踏まえ検討を行うべき」	
2	花の美術館 (三陽メディア フラワーミュージアム)	27			24.3	3	53,666	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	27.7	人/㎡	3	48,788	円/㎡	2	△	②	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> 民間活力を導入したリニューアルを予定しているため、取組み状況を注視することとし、評価据置きとする。
	【参考】美術館	27			19.5		36,803					16.0	人/㎡		43,292	円/㎡		①	○					
	【参考】科学館	27			19.1		32,144					22.0	人/㎡		28,191	円/㎡		①	○					

グループ名	公園・レクリエーション施設（屋内集客系施設）
-------	------------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・屋内集客系施設は2施設しかないことから、相対評価を行うため、類似施設である美術館や科学館を参考値として評価を行った。 <p>【千葉ポートタワー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産の総合評価1巡目において、以下の内容の評価結果となっていることから、当面の間は評価据置きとする。 「施設の老朽化に伴う改修費の増額が見込まれるため、本市が継続運営するべきかについて、今後の利用状況や千葉中央港地区のまちづくりの方向性も踏まえ検討を行うべき」 <p>【花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を導入したリニューアルを予定しているため、評価据置きとする。

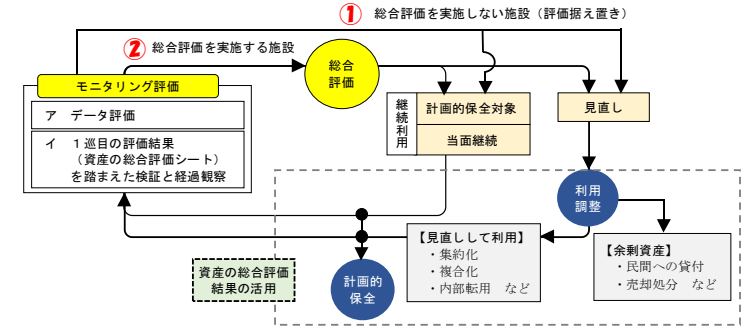
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価																
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要									
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性								
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定											
1	男女共同参画センター	27	27-18			21.7	-	-	46,726	-	-	見直し	その他 (貸室のあり方検討)		16.7	人/nf	-	-	38,191	円/nf	-	-	①	-	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <諸室の貸出部分を蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館としたため、3年間の利用状況等を踏まえ、総合評価を実施する（それまでは「当面継続」とする）>
2	国際交流プラザ	27	27-19			29.3	-	-	7,603	-	-	継続利用	当面継続	△	44.1	人/nf	-	-	24,998	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※H29年度に一時的な修繕が発生しているため、運営コストが増加している
3	市民活動支援センター	27	27-20			80.8	-	-	106,312	-	-	継続利用	当面継続		93.5	人/nf	-	-	113,010	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	栄町立体駐車場	27	27-21	△		4.8	-	-	4,813	-	-	継続利用	当面継続	△	5.1	人/nf	-	-	4,952	円/nf	-	-	①	○	見直し	民間等による施設活用の可能性を含めた施設のあり方の検討	1-32	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う民間等による施設活用の可能性を含めた施設のあり方を検討する方針
5	地域開放モデル事業予定地 (旧花見川第五小学校)	27	27-22	△		14.6	-	-	5,293	-	-	継続利用	当面継続	△	11.7	人/nf	-	-	3,973	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-32	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 敷地内の校舎跡地の活用など、今後の方向性について検討中
6	おゆみ野ふれあい館 地域活動施設	27	27-23			29.3	-	-	7,981	-	-	継続利用	当面継続		29.0	人/nf	-	-	4,900	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	その他
-------	-----

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度は「面積当たり利用者数」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。 【国際交流プラザ、市民活動支援センター、おゆみ野ふれあい館地域活動施設】 ・状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。 【栄町立体駐車場、地域開放モデル事業予定地（旧花見川第五小学校）】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 【男女共同参画センター】 ・3年間の利用状況等を踏まえ、総合評価を実施する。（それまでは「当面継続」とする。）

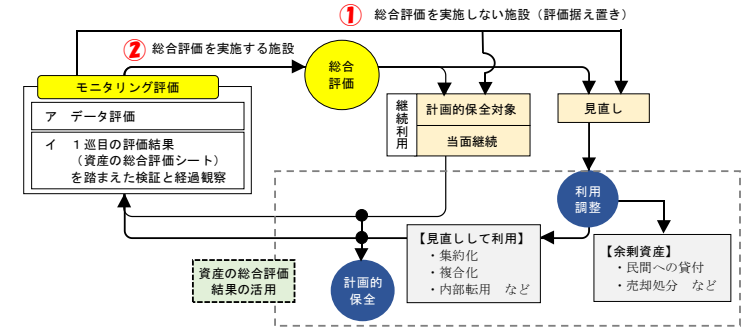
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討と する主な考え方	
斜線	・残耐用年数5年以下	
斜線	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
斜線	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	青少年サポートセンター 東分室	28	28-1	1.1	2	△	151,450	3	継続利用	当面継続	斜線	1.2	件/nf	2	△	144,452	円/nf	3	①	○	継続利用	当面継続	1-34	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 必要規模等を精査する必要があるもの の、当面は利用を継続する		
2	青少年サポートセンター 西分室	28	28-2	1.3	2	△	267,840	1	△	継続利用	当面継続	斜線	2.3	件/nf	3		207,469	円/nf	1	△	①	○	継続利用	当面継続	1-35	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するものの、運営 コストの改善を検討する必要がある
3	青少年サポートセンター 南分室	28		2.5	4		143,972	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	5.4	件/nf	5		135,833	円/nf	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)		
4	青少年サポートセンター 北分室	28		2.1	4		126,475	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	2.0	件/nf	3		129,467	円/nf	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)		

グループ名	福祉系施設（青少年サポートセンター）
-------	--------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【青少年サポートセンター（東分室、西分室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

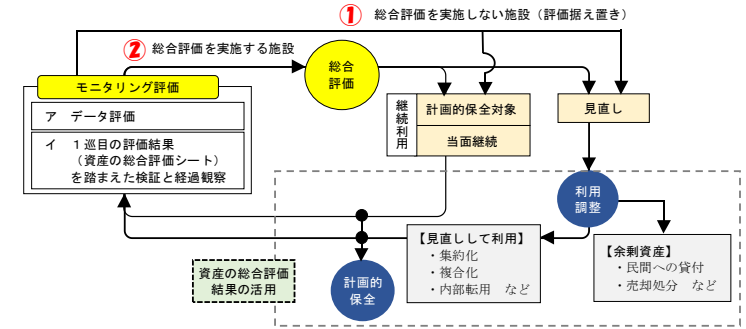
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	児童相談所	28	28-3		1.5	-	-	12,727	-	-	継続利用	計画的保全		2.0	人/㎡	-	-	23,727	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	子ども交流館	28	28-4		20.3	-	-	19,835	-	-	継続利用	計画的保全		21.7	人/㎡	-	-	21,373	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	子育て支援館	28	28-5		49.0	-	-	49,138	-	-	継続利用	計画的保全		42.9	人/㎡	-	-	52,540	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	福祉系施設（その他（子育て））
-------	-----------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度は「面積当たり利用者数」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。 <p>【児童相談所、子ども交流館、子育て支援館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

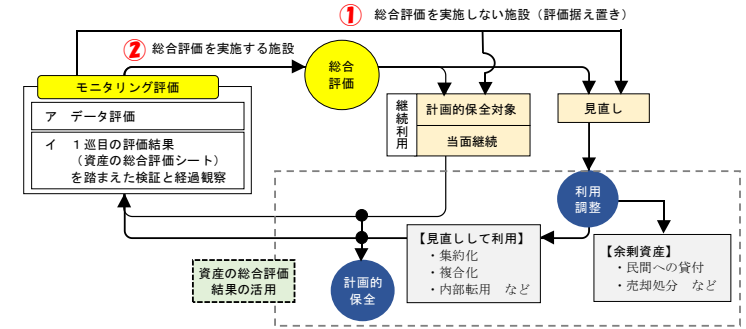
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	おゆみ野中央・子育てリラククス館											／	125.5	人/nf	4	145,187	円/nf	3	①	○	継続利用	当面継続	30-6	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は現用途のまま継続して使用する が、法定耐用年数が経過するまでに、 代替地や施設規模を検討していく必要 がある	
2	蘇我・子育てリラククス館											／	93.8	人/nf	3	86,225	円/nf	5	①	○	継続利用	当面継続	30-7	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は現用途のまま継続して使用する が、法定耐用年数が経過するまでに、 代替地や施設規模を検討していく必要 がある	
3	高洲・子育てリラククス館											／	71.0	人/nf	3	56,661	円/nf	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)	
	【参考】千葉寺・子育てリラククス館											／	110.6	人/nf		185,956	円/nf								
	【参考】花見川・子育てリラククス館											／	63.7	人/nf		120,358	円/nf								
	【参考】幕張本郷・子育てリラククス館											／	144.0	人/nf		267,300	円/nf								
	【参考】てんだい・子育てリラククス館											／	115.0	人/nf		181,915	円/nf								
	【参考】千城台・子育てリラククス館											／	113.9	人/nf		243,150	円/nf								
	【参考】かまとり・子育てリラククス館											／	70.6	人/nf		144,450	円/nf								

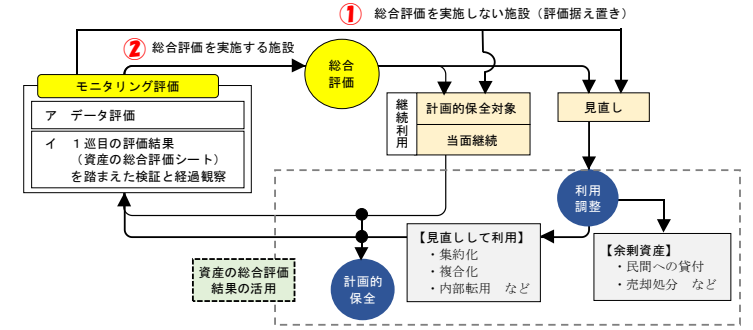
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
△	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	富田都市農業交流センター	28			220.0	4		78,964	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	287.9	人/nf	4		78,454	円/nf	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
2	下田都市農業交流センター	28			137.9	3		21,683	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	126.4	人/nf	3		22,108	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	中田都市農業交流センター	28	28-7		64.5	2	△	91,536	2	△	継続利用	当面継続	△	72.5	人/nf	2	△	91,636	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等によりデータ評価で課題ありとなっているため、H30年度及びR元年度と同様、評価据置きとする

グループ名	商業・農業系施設（都市農業交流センター）
-------	----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【中田都市農業交流センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ評価で課題ありとなったものの、施設の立地条件、設置背景等によるものであり、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

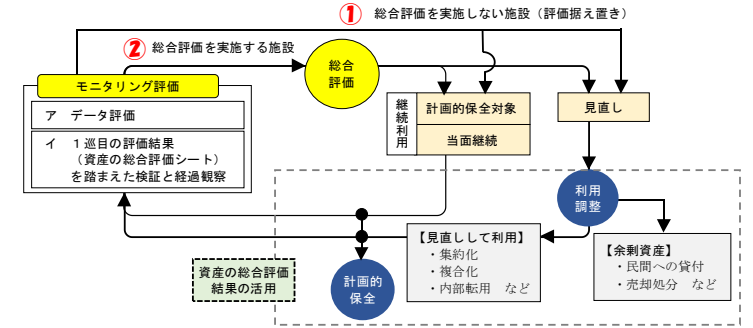
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
1	ふるさと農園	28	28-6	△	50.4	-	-	30,994	-	-	見直し	貸付・売却等	△	56.7	人/nf	-	-	29,049	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-36	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 (評価区分「当面継続」に変更) 指定管理期間(～R6.3)は当面継続とし、今後の利用者数への影響及び運営コストへの影響を注視していく
2	農政センター	28	28-8	△	2.4	-	-	8,470	-	-	継続利用	当面継続		1.8	人/nf	-	-	7,829	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	地方卸売市場	28	28-10	△	1.9	-	-	11,429	-	-	継続利用	当面継続	△	1.8	t/nf	-	-	11,611	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-38	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 事業者への用地の貸付など、資産の効率利用や費用削減に向けた取組みが進められていることなどから、当面は利用を継続し、動向を注視することとする
4	CHIBA LABO (チバラボ)	28	28-11		36.3	-	-	36,409	-	-	継続利用	当面継続		54.7	人	-	-	38,502	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	商業・農業系施設（その他（産業・農業））
-------	----------------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度は「面積当たり利用者数」や「面積当たり取扱量」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。 <p>【ふるさと農園、地方卸売市場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。 <p>【農政センター、CHIBA LABO (チバラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする

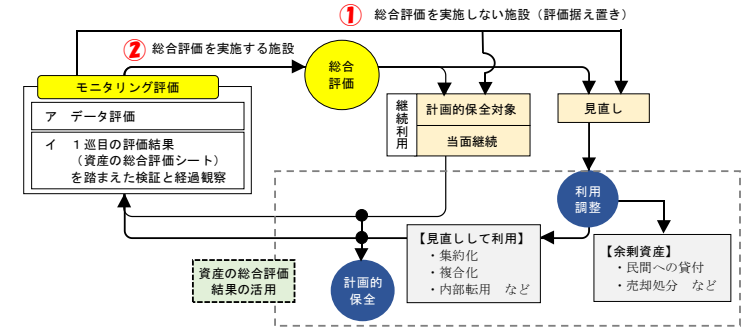
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討とする主な考え方	
斜線	・残耐用年数5年以下	
斜線	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
斜線	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価											
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性		
1	花見川区役所	28		93.9	4	10,184	5	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	63.9	件/nf	4	8,462	円/nf	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
2	稲毛区役所	28	28-13	89.8	4	12,731	2	△	継続利用	計画的保全	斜線	63.8	件/nf	4	11,136	円/nf	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	若葉区役所	28		93.31	4	12,038	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	62.1	件/nf	3	12,727	円/nf	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> 設置経緯及び施設規模や非常時の区災害対策本部としての機能等を考慮すると再配置することが難しいことに加え、スペースを活用した取組みが行われているため、取組み状況を注視することとし、評価据置きとする。※3
4	緑区役所	28	28-14	58.1	1	11,222	4	継続利用	計画的保全	斜線	45.2	件/nf	1	13,476	円/nf	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> ※3 評価据置き
5	美浜区役所	28		81.84	3	11,429	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	62.4	件/nf	3	11,636	円/nf	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	

グループ名	行政施設（区役所）
-------	-----------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【区役所（若葉、緑）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となったものの、個別事情により評価据置きとする。

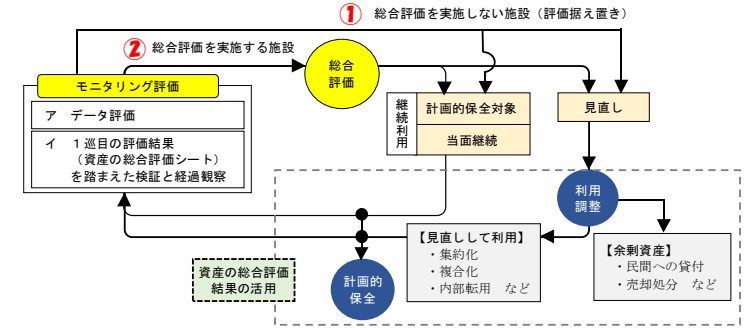
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	花見川保健福祉センター	28		48.4	5	9,171	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	42.5	件/nf	4	11,924	円/nf	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト課題あり（1期目）			
2	稲毛保健福祉センター	28		40.7	3	10,167	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	50.4	件/nf	4	9,399	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		（データ評価で課題なし）			
3	若葉保健福祉センター	28		41.8	4	10,378	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	41.2	件/nf	3	10,241	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		（データ評価で課題なし）			
4	緑保健福祉センター	28	28-27	34.5	2	△	12,220	2	△	継続利用	計画的保全	△	29.1	件/nf	2	△	13,160	円/nf	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
5	美浜保健福祉センター	28	28-28	35.8	2	△	12,865	2	△	継続利用	計画的保全	△	26.5	件/nf	2	△	11,157	円/nf	3	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない	

グループ名	行政施設（保健福祉センター）
-------	----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【保健福祉センター（花見川）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。 ※花見川保健福祉センターは経過観察1期目 <p>【保健福祉センター（緑、美浜）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産の総合評価1巡目のデータ評価に加え、2巡目のデータ評価においても「課題あり」となったものの、状況に変化しないことから評価結果を据置きとする。

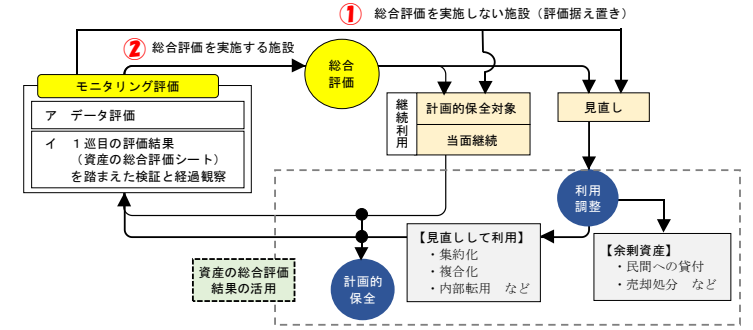
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
△	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
●	・残耐用年数5年以下	
●	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
●	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	生浜市民センター	28	28-15		582.9	4		316,857	2	△	継続利用	計画的保全	△	536.4	件/nf	4		331,430	円/nf	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
2	松ヶ丘市民センター	28	28-16		828.2	5		383,440	2	△	継続利用	当面継続	△	707.6	件/nf	5		398,613	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 複合施設である松ヶ丘公民館が評価据置きであるため、本施設も同様の取扱いとする
3	猿橋市民センター												△	340.5	件/nf	3		365,946	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続	30-8	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 賃貸借契約期間中（～R9.8）は現用途のまま継続して使用する
4	さつきが丘市民センター	28	28-17	△	340.9	3		251,818	3		継続利用	当面継続	△	291.5	件/nf	3		264,929	円/nf	3		①	○	継続利用	当面継続	1-39	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況等を注視する 将来の建替え等の検討においては、周辺施設との複合化などを含めて検討する必要がある
5	花見川市民センター	28			413.9	3		174,137	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	329.9	件/nf	3		198,034	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
6	幕張本郷市民センター	28	28-18		791.5	5		498,019	1	△	継続利用	計画的保全	△	756.9	件/nf	5		518,440	円/nf	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
7	山王市民センター	28	28-19	△	209.1	2	△	139,225	4		継続利用	当面継続	△	195.9	件/nf	2	△	166,392	円/nf	4		①	○	継続利用	当面継続	1-40	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続（残耐用年数5年を目安）
8	泉市民センター	28	28-20	△	74.5	2	△	72,591	4		継続利用	当面継続	△	71.1	件/nf	2	△	77,856	円/nf	5		①	○	継続利用	当面継続	1-41	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続（残耐用年数5年を目安）
9	千城台市民センター	28			464.1	3		250,749	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	△	390.7	件/nf	3		242,319	円/nf	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

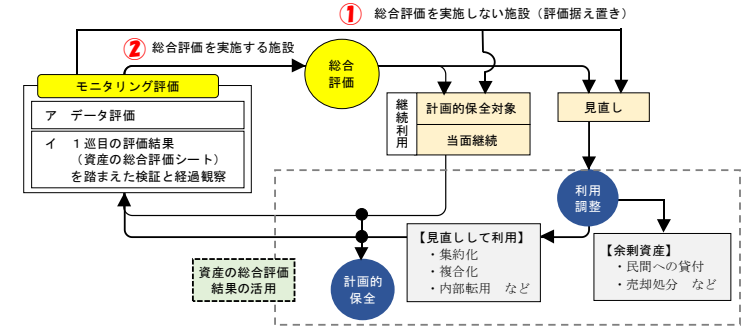
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
・	残耐用年数5年以下	
・	資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
・	昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性						
10	土気市民センター	28	28-21	△	256.0	2	△	106,835	4		継続利用	当面継続	△	219.9	件/m ²	2	△	119,446	円/m ²	4	①	○	継続利用	当面継続	1-42	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とするが、将来の建替え等の 検討においては、必要規模を精査する とともに、周辺施設のと一体的な検討 を図る必要がある
11	誉田市民センター	28	28-22	斜線	270.2	2	△	256,607	3		継続利用	当面継続	斜線	242.2	件/m ²	2	△	269,857	円/m ²	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 複合施設である誉田公民館が評価据置き であるため、本施設も同様の取扱い とする

グループ名	行政施設（市民センター）
-------	--------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【市民センター（横橋、さつきが丘、山王、泉、土気）】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【市民センター（松ヶ丘、誉田）】 ・2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、個別事情により評価結果を据置きとする。</p> <p>【市民センター（生浜、幕張本郷）】 ・状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。</p>

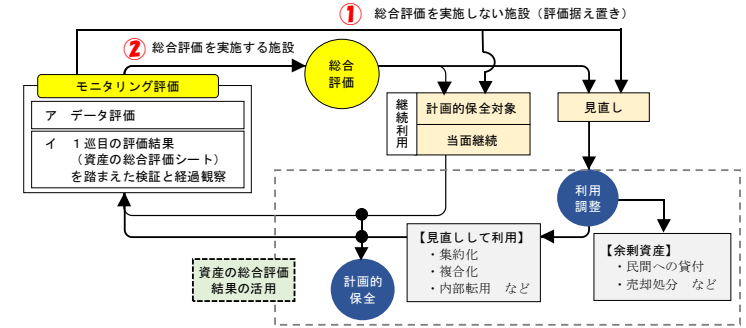
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	・残耐用年数5年以下	
斜線	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
斜線	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用率	運用コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運用コスト		ルート	評価結果	方向性											
1	蘇我駅前連絡所	28		420.1	5	125,456	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	745.3	件/㎡	5	208,419	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<個別事情により評価据置き> 複合施設となっている蘇我コミュニティセンターが評価据置きであるため、本施設も同様の取扱いとする				
2	こてはし台連絡所	28	28-23	△	294.9	4	133,921	3	見直し	集約化	△	245.4	件/㎡	3	118,201	円/㎡	3		①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う			
3	長作連絡所	28	28-24		141.9	2	△	226,144	1	△	見直し	集約化	斜線	119.1	件/㎡	2	△	198,511	円/㎡	2	△	①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
4	大宮台連絡所	28			196.8	3	139,153	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線	169.8	件/㎡	3	136,358	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)			
5	椎名連絡所	28	28-25	△	17.9	2	△	33,771	5	見直し	集約化	△	18.4	件/㎡	2	△	31,116	円/㎡	5		①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う	

グループ名	行政施設（連絡所）
-------	-----------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用率	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運用コスト	イ 面積当たり運用コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【連絡所（蘇我）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、個別事情により評価結果を据置きとする。 <p>【連絡所（こてはし台、長作、椎名）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

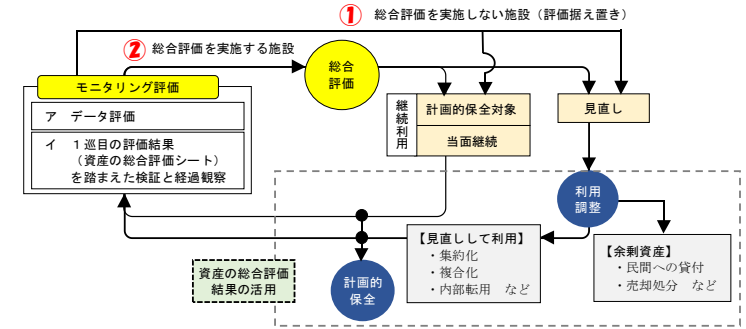
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果											
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	東京事務所	28	28-29		0.032	-	-	116,173	-	-	継続利用	当面継続	／	-	人/㎡	-	-	26,949	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	幕張新都心サテライトオフィス	28	28-30		0.059	-	-	60,044	-	-	継続利用	当面継続	／	-	人/㎡	-	-	26,195	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	職員研修所	28	28-31		0.002	-	-	12,850	-	-	継続利用	計画的保全	／	-	人/㎡	-	-	10,585	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	総合保健医療センター	28	28-32		0.013	-	-	17,768	-	-	継続利用	計画的保全	／	-	人/㎡	-	-	19,459	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	行政施設（事務所等）
-------	------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。 参考として、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。 ※資産の総合評価1巡目では、利用度として面積当たりの職員数を記載。 <p>【東京事務所、幕張新都心サテライトオフィス、職員研修所、総合保健医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

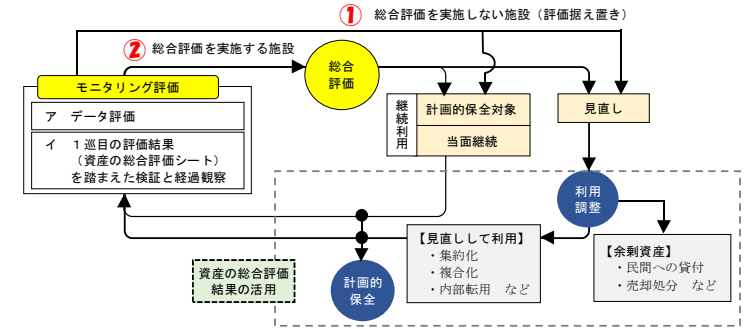
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
△	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
●	評価替え検討とする主な考え方	
●	・残耐用年数5年以下	
●	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
●	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性				
1	消防局・中央消防署	29	29-1	5,147.0	-	-	18,100	1	△	継続利用	計画的保全	6,197.7	件	-	-	15,009	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
2	花見川消防署	29	29-2	2,473.0	-	-	8,900	3		継続利用	計画的保全	2,545.0	件	-	-	8,105	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	稲毛消防署	29	29-3	3,149.0	-	-	7,300	4		継続利用	計画的保全	3,494.0	件	-	-	10,635	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
4	若葉消防署	29	29-4	1,317.0	-	-	7,900	4		継続利用	計画的保全	1,506.7	件	-	-	7,994	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
5	緑消防署	29	29-5	1,929.0	-	-	8,100	3		継続利用	計画的保全	2,138.0	件	-	-	9,001	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
6	美浜消防署	29	29-6	3,095.0	-	-	8,900	3		継続利用	計画的保全	3,171.3	件	-	-	8,918	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	行政施設（消防施設（消防署））
-------	-----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 参考値として出動件数を利用度として記載。 <p>【消防局・中央消防署】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

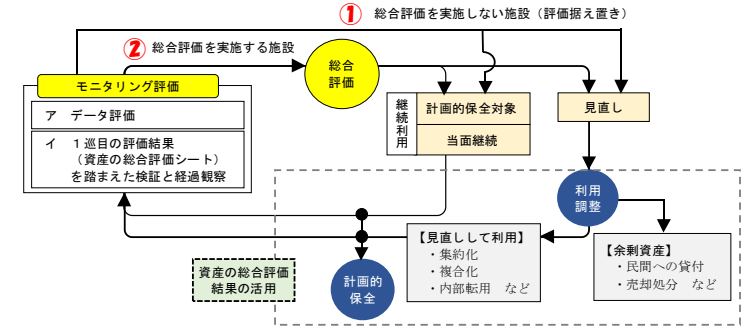
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	中央消防署蘇我出張所	29	29-7	2,353.0	-	-	16,000	4	継続利用	計画的保全	／	2,277.0	件	-	-	17,634	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)				
2	中央消防署宮崎出張所			2,306.0	-	-	13,500	4	／	<個別に取組みあり> 建替中	／	2,404.7	件	-	-	14,187	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)			
3	中央消防署生浜出張所	29	29-8	1,718.0	-	-	26,700	2	△	継続利用	計画的保全	／	1,793.0	件	-	-	29,384	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない		
4	中央消防署臨港出張所	29	29-9	△	2,525.0	-	-	8,900	5	継続利用	当面継続	／	2,311.7	件	-	-	22,183	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> 消防施設は、消防需要等を踏まえて消防施設全体で配置場所を検討する必要があることなどから、消防局を中心として施設再配置計画を策定すべきであるため評価据置きとする※4			
5	花見川消防署幕張出張所	29	29-10	2,728.0	-	-	16,200	4	継続利用	計画的保全	／	2,822.0	件	-	-	17,118	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
6	花見川消防署畑出張所	29	29-11	△	2,357.0	-	-	24,400	2	△	継続利用	当面継続	△	2,511.0	件	-	-	21,997	円/㎡	3	②	○	継続利用	当面継続	2-6	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R2年度総合評価実施 ※4 評価据置き	
7	花見川消防署作新台出張所	29	29-12	△	2,085.0	-	-	29,800	1	△	継続利用	当面継続	△	2,277.0	件	-	-	32,474	円/㎡	1	△	②	○	継続利用	当面継続	2-7	<個別事情により評価据置き> R2年度総合評価実施 ※4 評価据置き
8	稲毛消防署西千葉出張所	29	29-13	2,687.0	-	-	20,700	3	継続利用	計画的保全	／	3,013.7	件	-	-	21,282	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
9	若葉消防署桜木出張所	29	29-14	△	2,554.0	-	-	22,400	3	継続利用	当面継続	／	2,798.0	件	-	-	22,451	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き			
10	若葉消防署大宮出張所	29	29-15	1,499.0	-	-	16,300	4	継続利用	計画的保全	／	1,522.7	件	-	-	16,781	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
11	若葉消防署都賀出張所	29	29-16	△	2,641.0	-	-	28,600	2	△	継続利用	当面継続	／	2,781.0	件	-	-	32,379	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き	

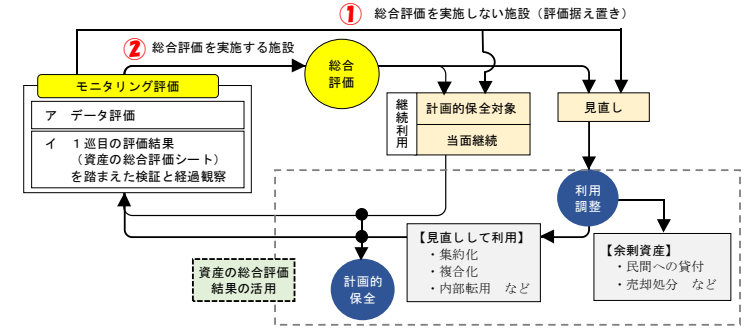
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
斜線	評価替え検討と する主な考え方	
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】 評価番号	検証結果 概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
12	若葉消防署泉出張所	29	29-17	△	667.0	-	-	25,900	2	△	継続利用	当面継続	斜線	710.7	件	-	-	28,464	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き
13	若葉消防署殿台出張所	29	29-18		2,663.0	-	-	21,700	3		継続利用	当面継続	斜線	2,892.3	件	-	-	25,752	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き
14	緑消防署誉田出張所	29	29-19		1,483.0	-	-	17,600	3		継続利用	計画的保全	斜線	1,600.0	件	-	-	18,024	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
15	緑消防署土気出張所	29	29-20	△	1,241.0	-	-	30,000	1	△	継続利用	当面継続	斜線	1,318.0	件	-	-	32,000	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き
16	緑消防署越智出張所	29	29-21		883.0	-	-	21,900	3		継続利用	当面継続	斜線	1,009.0	件	-	-	24,271	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き
17	美浜消防署高浜出張所	29	29-22	△	2,561.0	-	-	18,600	3		継続利用	当面継続	斜線	2,668.0	件	-	-	22,116	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※4 評価据置き
18	美浜消防署打瀬出張所	29	29-23		2,367.0	-	-	11,900	4		継続利用	計画的保全	斜線	2,266.7	件	-	-	12,819	円/㎡	5		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	行政施設（消防施設（出張所））
-------	-----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>・参考値として出動件数を利用度として記載。</p> <p>【出張所（臨港、桜木、都賀、泉、殿台、土気、越智、高浜）】</p> <p>・消防施設は、消防需要等を踏まえて消防施設全体で配置場所を検討する必要があることなどから、消防局を中心として施設再配置計画を策定すべきであるため評価据置きとする ※なお、以下の出張所（畑、作新台、生浜）は除く。</p> <p>【出張所（畑、作新台）】</p> <p>・令和2年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【出張所（生浜）】</p> <p>・状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。</p>

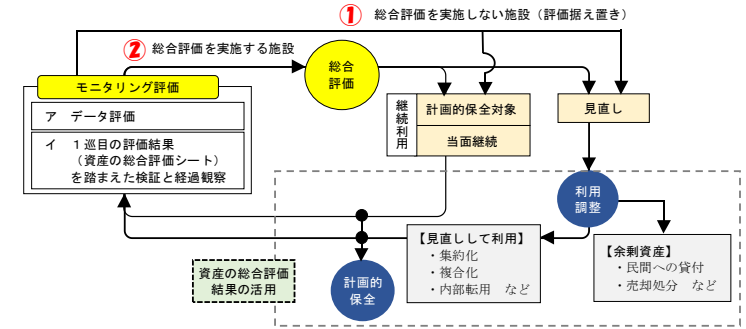
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
△	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
△	評価替え検討とする主な考え方 ・残耐用年数5年以下 ・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある ・昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価結果	方向性										
1	中央・美浜環境事業所	29	29-24	△	6,205.0	-	-	3,500	4		継続利用	当面継続	△	7,161.7	件	-	-	8,015	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>
2	花見川・稲毛環境事業所	29	29-25	△	13,080.0	-	-	5,400	2	△	継続利用	当面継続	△	14,531.3	件	-	-	3,726	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>
3	若葉・緑環境事業所	29	29-26		5,209.0	-	-	5,800	2	△	継続利用	当面継続	△	4,925.7	件	-	-	5,378	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>

グループ名	行政施設（環境事業所）
-------	-------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・参考値として粗大ごみ自己搬入件数を利用度として記載。 ・3事業所のあり方検討中であることから、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

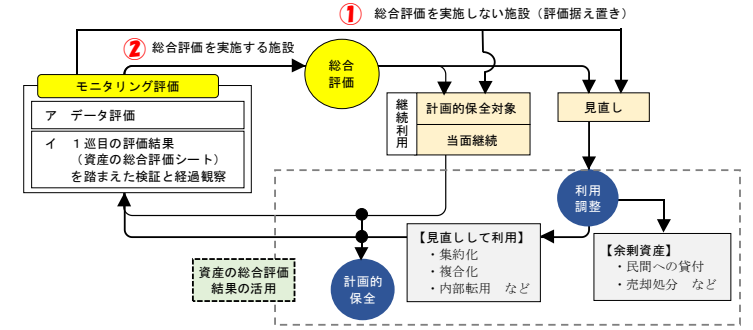
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
・	残耐用年数5年以下	
・	資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
・	昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
1	中央・稲毛公園緑地事務所	29	29-27	△	1,870.0	-	-	8,800	1	△	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）	△	-	件	-	-	127,886	円/㎡	1	△	①	-	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 既存の公園緑地事務所へ機能統合したため、3年間の利用状況等の調査を踏まえ、総合評価を実施することとする（それまでは「当面継続」とする）
2	花見川公園緑地事務所	29	29-28	斜線	1,219.0	-	-	2,800	4	斜線	継続利用	当面継続	斜線	-	件	-	-	4,648	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする	
3	若葉公園緑地事務所	29	29-29	△	925.0	-	-	7,100	2	△	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）	△	-	件	-	-	34,705	円/㎡	3	①	-	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 既存の公園緑地事務所へ機能統合したため、3年間の利用状況等の調査を踏まえ、総合評価を実施することとする（それまでは「当面継続」とする）	
4	緑公園緑地事務所	29	29-30	△	838.0	-	-	2,800	4	斜線	継続利用	当面継続	△	-	件	-	-	10,554	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする	
5	美浜公園緑地事務所	29	29-31	△	1,088.0	-	-	3,000	4	斜線	継続利用	当面継続	斜線	-	件	-	-	12,326	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする	

グループ名	行政施設（公園緑地事務所）
-------	---------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【公園緑地事務所（花見川、緑、美浜）】 ・3事業所のあり方検討中であることから、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。</p> <p>【公園緑地事務所（中央・稲毛、若葉）】 ・3年間の利用状況等の調査を踏まえ、総合評価を実施することとする。（それまでは「当面継続」とする。）</p>

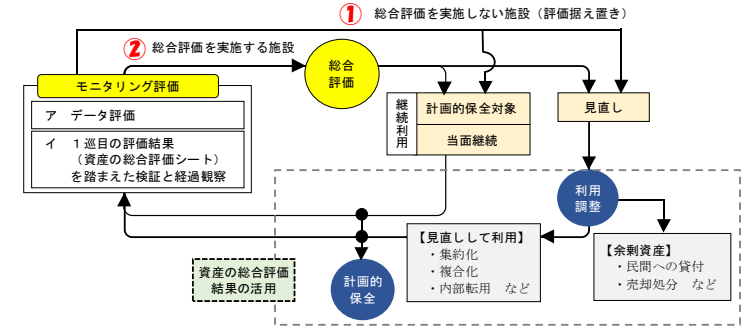
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性									
1	中央・美浜土木事務所	29	29-32	△	5,218.0	-	-	4,700	3		継続利用	当面継続	△	-	件	-	-	4,699	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
2	花見川・稲毛土木事務所	29	29-33	△	3,558.0	-	-	4,600	3		継続利用	当面継続	／	-	件	-	-	6,231	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
3	若葉土木事務所	29	29-34		2,819.0	-	-	4,300	4		継続利用	当面継続	／	-	件	-	-	4,747	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
4	緑土木事務所	29	29-35	△	3,312.0	-	-	6,000	2	△	継続利用	当面継続	△	-	件	-	-	7,359	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする

グループ名	行政施設（土木事務所）
-------	-------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
・3事業所のあり方検討中であることから、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。 ※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。

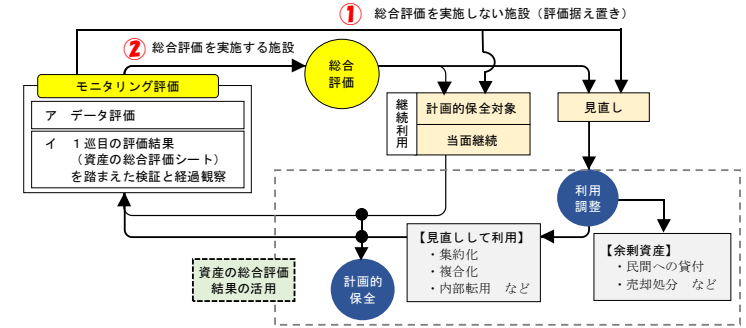
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	消防総合センター	29	29-36		77.0	-	-	6,100	-	-	継続利用	計画的保全		-	人	-	-	8,530	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	救助救急センター	29	29-37		19.0	-	-	2,700	-	-	見直し	その他 (他施設への移転)		-	人	-	-	19,111	円/㎡	-	-	①	○	見直し	その他 (他施設への移転)		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
3	暮らしのプラザ	29	29-39		6,619.0	-	-	24,050	-	-	継続利用	当面継続		7,767.3	人	-	-	38,725	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	動物保護指導センター	29	29-40	△	3,886.0	-	-	10,420	-	-	継続利用	当面継続		2,902.3	件	-	-	11,598	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	千葉サイクル会館													1,251.3	人	-	-	1,765	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-15	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全

グループ名	行政施設（出先機関等（その他））
-------	------------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度（職員数、入居率、相談件数等）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。 ※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。 <p>【消防総合センター、暮らしのプラザ、動物保護指導センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。 <p>【千葉サイクル会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

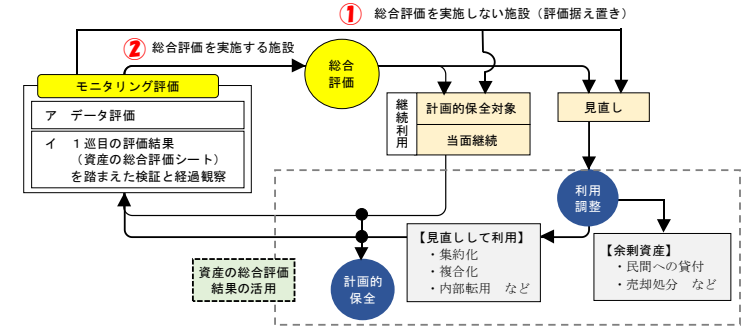
【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	

評価替え検討とする主な考え方



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果											
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
1	社会福祉研修センター	29	29-41		3,467.0	-	-	87,500	-	-	継続利用	当面継続		4,927.0	人	-	-	86,782	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	成年後見支援センター	29	29-43		762.0	-	-	281,100	-	-	継続利用	計画的保全		784.0	件	-	-	324,852	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	障害者福祉センター	29	29-44		49,624.0	-	-	55,300	-	-	継続利用	計画的保全		46,702.7	人	-	-	47,073	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	障害者相談センター	29	29-45		2,332.0	-	-	107,000	-	-	継続利用	計画的保全		2,601.7	件	-	-	93,828	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	大宮学園	29	29-46		13,501.0	-	-	121,500	-	-	継続利用	計画的保全		12,519.3	人	-	-	124,807	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
6	桜木園	29	29-47		23,782.0	-	-	151,700	-	-	継続利用	計画的保全		24,238.7	人	-	-	157,869	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
7	療育センター	29	29-48	△	87,365.0	-	-	97,500	-	-	継続利用	計画的保全		32,004.3	人	-	-	111,694	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
8	こころの健康センター	29	29-49		4,553.0	-	-	56,200	-	-	継続利用	計画的保全		3,940.7	件	-	-	60,669	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
9	発達障害者支援センター													908.7	人	-	-	270,266	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-16	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全
10	療育センター分館 ふれあいの家													54,168.3	人	-	-	94	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-17	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全
11	ひきこもり地域支援センター													2,947.3	人	-	-	752,340	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-18	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全

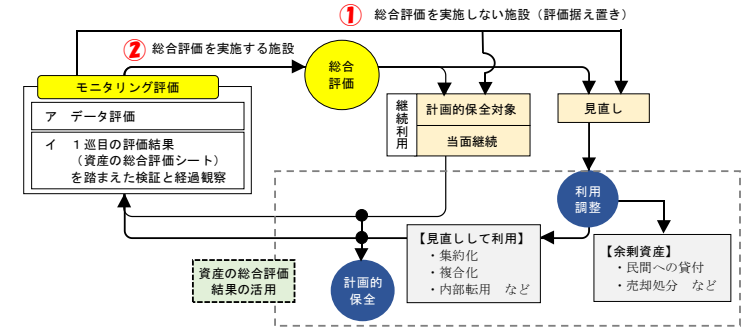
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
	評価替え検討とする主な考え方	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	青葉病院	29	29-50		71.8	-	-	342,100	-	-	継続利用	計画的保全	／	73.3	%	-	-	365,942	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <個別事情により評価据置き> 市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする
2	海浜病院	29	29-51	△	68.4	-	-	445,900	-	-	継続利用	当面継続	△	62.9	%	-	-	508,743	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <個別事情により評価据置き> 市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする
3	休日救急診療所	29	29-52		22,496.0	-	-	136,100	-	-	継続利用	計画的保全	／	19007.0	人	-	-	124,145	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	医療系施設
-------	-------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度（病床稼働率、受診者数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。 <p>【青葉病院、海浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする。 <p>【休日救急診療所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

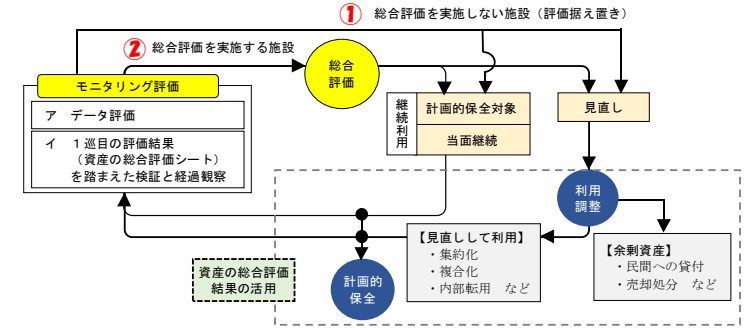
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
1	養護学校	29	29-53	189.0	-	-	11,100	-	-	継続利用	計画的保全	斜線	173.0	人	-	-	84,673	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの	
2	第二養護学校	29	29-54	△	73.0	-	-	15,700	-	-	継続利用	計画的保全	斜線	74.7	人	-	-	88,422	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの
3	高等特別支援学校	29	29-55	△	72.0	-	-	8,200	-	-	継続利用	計画的保全	斜線	93.0	人	-	-	57,107	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの
4	千葉高等学校	29	29-56		976.0	-	-	43,700	-	-	継続利用	計画的保全	斜線	967.7	人	-	-	45,429	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	稲毛高等学校	29	29-57	△	958.0	-	-	30,500	-	-	継続利用	計画的保全	斜線	956.3	人	-	-	32,853	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	学校（小中学校除く）
-------	------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度（児童数、生徒数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。 <p>【養護学校、第二養護学校、高等特別支援学校、千葉高等学校、稲毛高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

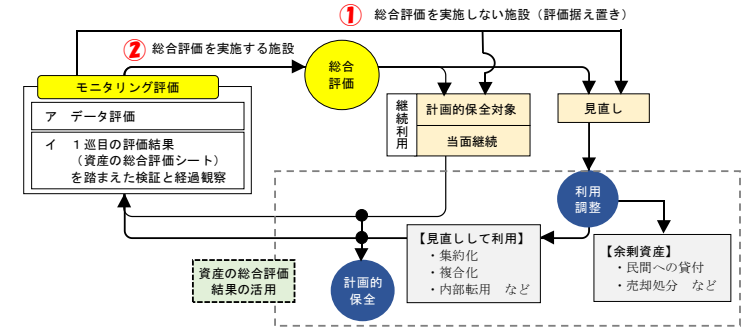
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
／	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替え検討とする主な考え方		
・残耐用年数5年以下		
・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある		
・昨年度から状況に変化がある		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性						
1	千葉市斎場	29	29-61	8,296.0	-	-	31,800	-	-	継続利用	計画的保全	／	9,110.3	件	-	-	32,672	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	桜木霊園	29	29-62	9,058.0	-	-	43,700	-	-	継続利用	計画的保全	／	9,543.0	区画	-	-	33,935	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	その他
-------	-----

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。 参考として、利用度（火葬件数、墓地区画数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。 <p>【千葉市斎場、桜木霊園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況変化がないものと判断し、平成30年度及び令和元年度と同様、評価据置きとする。

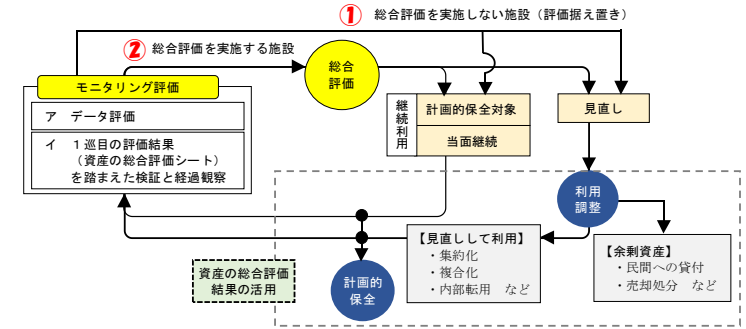
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
・	残耐用年数5年以下	
・	資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
・	昨年度から状況に変化がある	



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価										
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性		
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定					
1	千葉公園スポーツ施設	26	26-1		△	766		見直し	類似機能の統合	斜線			660	円/人	4	①	○	見直し	類似機能の統合		評価結果を踏まえ個別に検討を行う	
2	千葉ポートアリーナ	26	26-3			1,419	△	継続利用	計画的保全	斜線			1,010	円/人	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
3	蘇我スポーツ公園	26	26-4		△	633		継続利用	計画的保全	斜線		△	389	円/人	5	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない	
4	青葉の森スポーツプラザ	26	26-5		△	475		継続利用	当面継続	斜線		△	394	円/人	5	①	○	継続利用	当面継続	1-18	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 データ評価では、陸上競技場の利用度 に課題ありとなったものの、利用者は 増加傾向であり、当面継続とし、今後 の利用状況等を注視していく	
5	宮崎スポーツ広場	26				380		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線			490	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		<個別事情により評価据置き> R2年度のデータ評価において、課題 が解消されたことから、経過観察をとり やめる	
6	花島公園スポーツ施設	26				754		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	斜線			671	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
7	こてはし温水プール	26	26-6		△	771		継続利用	計画的保全	斜線			730	円/人	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	

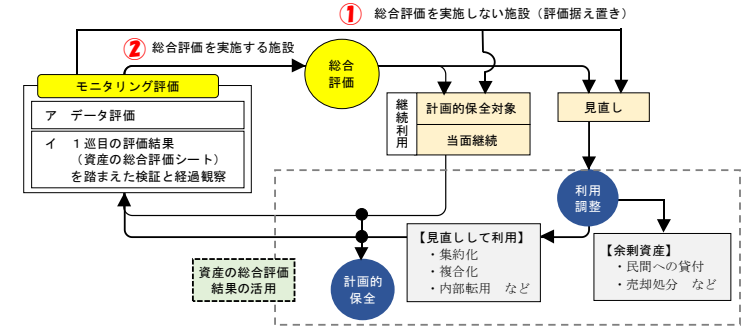
令和2年度 資産の総合評価：モニタリング評価結果（案）一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし
斜線	データ評価実施せず

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
★	評価替え検討 【総合評価 実施】	ルート②
	・残耐用年数5年以下	
	・資産の総合評価（1巡目）から状況に変化がある	
	・昨年度から状況に変化がある	
評価替え検討とする主な考え方		



※R元年度及びR2年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和2年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定										
8	猿橋公園	26						402				継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし					223	円/人	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			(データ評価で課題なし)
9	宮野木スポーツセンター	26						827				継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし					426	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			(データ評価で課題なし)
10	みつわ台第2公園 スポーツ施設	26	26-7				△	822				継続利用	計画的保全					435	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			(データ評価で課題なし)
11	北谷津温水プール	26	26-8				△	694				継続利用	当面継続				△	657	円/人	4	①	○	継続利用	当面継続	1-19		<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況や運営コスト、北谷津清掃工場の再整備計画の検討状況等を注視していく必要がある
12	中田スポーツセンター	26	26-9				△	788				継続利用	当面継続				△	810	円/人	3	①	○	継続利用	当面継続			<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等から直ちに統合可能な施設がなく、当面は利用を継続し、利用状況を注視していく
13	大宮スポーツ広場	26	26-10				△	173				継続利用	当面継続				△	448	円/人	4	①	○	継続利用	当面継続	1-20		<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 本施設や周辺施設の利用状況などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいことから、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく

【別紙】 令和2年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧

番号	施設名称	資産の総合評価(1巡目)評価結果					資産の総合評価(2巡目)・モニタリング評価(【別紙】 令和2年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧)														
		データ評価			総合評価		データ評価								データ評価1巡目の評価結果を踏まえた検証						
		建物性能	利用率	運営コスト	評価結果	方向性	利用率(機能別)								ルート	検証結果	検証結果概要				
							① 野球場	② 庭球場	③ 球技場・多目的運動場・陸上競技場等			④ プール	⑤ 温水プール	⑥ 体育館・屋内運動場				⑦ 武道場		⑧ その他	
判定	判定	判定			評価	評価	球技場	多目的運動場	グラウンドゴルフ	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価				
1	千葉公園スポーツ施設	△	△		利用見直し	類似機能の統合						3		4				①	○	利用見直し	評価結果を踏まえ個別に検討を行う
2	千葉ポートアリーナ			△	継続利用	計画的保全対象												①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
3	蘇我スポーツ公園		△		継続利用	計画的保全対象												①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
	フクダ電子アリーナ[蘇我球技場]							2													
	フクダ電子ヒルスコート[庭球場]							3													
	フクダ電子スクエア[多目的広場]								3												
	フクダ電子フィールド[第一多目的グラウンド]								4												
	フクダ電子グラウンド[第二多目的グラウンド]								2												
	フクダ電子アジウム[円形野球場]						2														
4	青葉の森スポーツプラザ		△		継続利用	当面継続	4	4	2						3		①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 データ評価では、陸上競技場の利用率に課題ありとなったものの、利用者は増加傾向であり、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく	
5	宮崎スポーツ広場				継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし		3									①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	<個別事情により評価据置き> R2年度のデータ評価において、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる	
6	花鳥公園スポーツ施設				継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	4	3					4	4			①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
7	こてはし温水プール		△		継続利用	計画的保全対象						4					①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
8	檜橋公園				継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	3										①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
9	宮野木スポーツセンター				継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	3	3					3				①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
10	みつわ台第2公園スポーツ施設	△			継続利用	計画的保全対象	3	4			3		4				①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
11	北谷津温水プール	△			継続利用	当面継続						2					①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況や運営コスト、北谷津清掃工場の再整備計画の検討状況等を注視していく必要がある	
12	中田スポーツセンター		△		継続利用	当面継続	2	4	5	4	2						①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等から直ちに統合可能な施設がなく、当面は利用を継続し、利用状況を注視していく	
13	大宮スポーツ広場		△		継続利用	当面継続		2									①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 本施設や周辺施設の利用状況などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく	
14	市民ゴルフ場		-		継続利用	当面継続											①	○	継続利用(当面継続)	※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数 R元年度 33,621人 (H26年度対比+7,253人)	
15	古市場公園スポーツ施設	△	△		継続利用	当面継続	2	2			2		3	2			①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 周辺施設の利用状況、代替施設の有無などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく	
16	有吉公園スポーツ施設				継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	3	4			5						①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)	
17	昭和の森スポーツ施設	△	△	△	継続利用	当面継続	2	1									①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 周辺施設の状況等を踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく	

【別紙】 令和2年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧

番号	施設名称	資産の総合評価(1巡目)評価結果					資産の総合評価(2巡目)・モニタリング評価(【別紙】令和2年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧)														
		データ評価			総合評価		データ評価										データ評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				
		建物性能	利用率	運営コスト	評価結果	方向性	利用度(機能別)										ルート	検証結果	検証結果 概要		
							① 野球場	② 庭球場	③ 球技場・多目的運動場・陸上競技場等			④ プール	⑤ 温水プール	⑥ 体育館・屋内運動場		⑦ 武道場				⑧ その他	
判定	判定	判定			評価	評価	評価	多目的運動場	グラウンドゴルフ	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価			
18	幸町公園	△		△	継続利用	当面継続						2						①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後、H29年に供用開始した高洲市民プールの利用状況を含めて、本施設の利用状況を注視していく必要がある
19	高洲スポーツセンター	/	/	/	/	/						3			3			①	○	継続利用(計画的保全対象)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全対象として、必要な保全を行い長寿命化を図るもの、近隣施設の幸町公園水泳プールの利用状況を注視する必要がある
20	磯辺スポーツセンター	/	/	/	/	/			3						3			①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)
21	稲毛海浜公園スポーツ施設	△	△	△	継続利用	当面継続	3	2	4			3		1			-	①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 本施設の再配置の検討にあたっては、「海辺のグランドデザイン」を踏まえた今後の取組み状況や利用状況等を注視していく必要がある
22	袖ヶ浦第4緑地	△			継続利用	計画的保全対象		4										①	○	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)
23	千葉アイススケート場	-	-	-	継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし												①	○	継続利用(計画的保全対象)	※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数(平均) 1巡目 170,711人 直近3年度 168,134人
24	千葉マリンスタジアム(ZOZOマリンスタジアム)			-	継続利用	計画的保全対象 ※データ評価課題なし	5											①	○	継続利用(計画的保全対象)	※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数 R元年度 2,194千人 (H26年度対比+516千人)